

輝いています

全日本大学選手権ボート女子クォドルプル優勝

ひと

みぞぐち しすか
溝口 心華さん

一糸乱れぬ動きでつかんだ栄冠



大舞台での勝利を手にして、笑顔を見せる溝口さん

息

の合ったチームワークを生かして水上で速さを競うボート競技。その全日本大学選手権が昨年9月に開催され、女子クォドルプル2000㍎で中央大学ボート部の溝口心華さん(22歳・南町3丁目)がみごと優勝を果たしました。4人でボートをこぐクォドルプルは各校のエース級が参加する花形種目。優勝は創部以来初の快挙です。両親の勧めで、小学2年生からボート教室に通い始めた溝口さん。高校から本格的なボート競技に取り組み、3年生のときには全国大会にも出場しました。「風を切って進むのが楽しい」と、大学でもボート部に入部し、週6日の練習

で武器である繊細なオールさばきに磨きをかけてきました。しかし、3年生のときには大会を前にけがに見舞われ、涙を流したことも。それでも、持ちまえの向上心で、食生活を見直し、体幹や筋力トレーニングに更に力を入れるなど体を鍛えあげてきました。そして迎えた9月の全日本大学選手権。決勝では各校が序盤から攻め、横並びの接戦になるも、この展開を予想していた溝口さんたちは冷静に離されないよう艇を進めます。中盤になってもペースが落ちないのがチームの強み。安定した速度でトップに立ち、リードを広げます。そして終盤。全体を見渡せる溝口さんが他校の追い上げを見て、ラストスパートの指示を出す、全員が氣力を振り絞り追撃をかわしてゴール。「最高の結果を残せて感無量です」と、最後の大会で有終の美を飾りました。春からは社会人で、自身の競技生活はいったんの区切りとなりますが、ボートはこれからもたいせつな存在。「妹たちもボートをしているのでこれからは応援する側として楽しみたいですね」と、晴れやかな笑顔で話してくれました。

今月の河鍋曉斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

—No.80—



曉斎筆「卯歳七福神豊年踊」明治23年(1890) 武川卯之吉板 大判錦絵三枚続

河鍋曉斎記念美術館 1月4日(水)~2月25日(土)

「曉斎・曉翠 祝画の華やざ」展
同時開催「『曉斎能画図式』の世界」展

開館=午前10時~午後4時 ところ=南町4-36-4

休館=火・木曜日、毎月26日~末日、年末年始

入館料=一般600円 高校生・大学生500円 小・中学生300円
65歳以上500円

※65歳以上は年齢の分かる物、
学生は学生証のご提示を

詳細=同館(☎441・9780)



詳しい内容は
美術館のホーム
ページをご
参照ください



は、題簽に一羽、奥に置かれた花器の飾りに二羽、屏風にも描かれていきます。なお恵比須がつ扇子には、明治14年(1881)第二回内国勸業博覧会に『枯木寒鴉図』を出品し妙技二等賞を受賞した父・曉斎の象徴ともいえるからすが描かれています。

Kyosai
Kawanabe

現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勸業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の曉翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 曉斎

天保2年(1831)
~明治22年(1889)